



学校通信

豊地っ子だより

～ 考える子 はげましあう子 つよい子 ～

令和6年4月8日

No. 1 三木市立豊地小学校
<http://www.miki.ed.jp/el/toyoti/>



新たな豊地小学校へ

本日より令和6年度の学校生活が始まりました。お子様の進級、ご入学おめでとうございます。心よりお喜び申し上げます。今年度から豊地小学校が大きく変わります。教科担任によるチーム担任制がスタートします。教職員も子どもたちも新たなことに挑戦していく1年となります。そのため、期待に胸がふくらみ、心が弾んでいます。教科担任となり教科ごとに教師が替わります。そして、チーム担任制となり低学年で学級担任が3名とサポート教師が1名、高学年で学級担任が3名になります。その3名の教師が原則1週間ごとに交替していきます。多くの教師の目で子どもたち一人一人を丁寧に見守っていきます。また、教科担任制の導入により専門的・系統的に学習を進めることができ、子どもたちの学力の向上を図ります。

そこで、本年度の学校教育目標を「こころ豊かに たくましく 自律する子の育成」とし、めざす児童像として、

- ・考える子 目標をもち、創造的・論理的に思考し、判断し、日々学び続ける子。
- ・はげましあう子 ふるさとを愛し、お互いを認め合い、高め合う子。
- ・つよい子 失敗を恐れず、新たなことに挑戦し、目標に向かって最後まで粘り強く取り組む子。

としました。子どもたちが自らの良さに気づき、「○○のような人になりたい」「○○ができるようになりたい」と目標をもち、その達成に向けて努力する過程での価値や意義を見出せる姿勢を身につけさせたいと考えたからです。学習においても生活においても子どもたちには得意なこと不得意なことがあります。得意なことをどんどん伸ばすことは大事なことです。しかし、不得意なことも挑戦してみると自分なりの学びがあり、新しい自分を発見することができます。そのため、子どもたちには、失敗を恐れず、いろいろなことに挑戦して欲しいと考えます。失敗は、ダメなことではありません。成功への大切なステップです。そのステップが多いほど、臨機応変に行動することができます。失敗を糧として自分を振り返り、仲間の協力を得ながら考え、実践し続けていくことが自律することにつながります。同時に、頑張る友だちを認め、支え合い、高め合える仲間づくりを進めます。保護者の皆様、地域の皆様もどうぞ子どもたちの頑張りを認め、応援していただきますようお願いいたします。

また、今年度より学期始めと終わりの1週間、1学期においては学期始めの2週間は短縮授業として5校時で下校いたします。その理由は、子どもたちが長期休業後の学校生活に慣れて生活リズムを確立するためと、チーム担任制となりチームでの打ち合わせを密に行い、子どもたち一人一人に寄り添った指導・支援が行えるようにするためです。学期始めと終わりは、教職員の仕事量が増加します。教職員の仕事時間を確保することは、教職員の心の余裕ができることにつながります。そして、子どもたちへの指導・支援にゆとりができ、しっかり寄り添うことができます。保護者の皆様には、その趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願いいたします。

子どもたちが「学校が楽しい」「学校に行けばやりたいことができる」「明日も学校へ行こう」と思える魅力ある学校に向け、豊地小学校は変わっていきます。そのために、教職員一同、力を合わせ、心を合わせ取り組んでまいります。教職員にとっても初めての取り組みです。戸惑いもあり、上手くいかないことも出てくると思いますが、失敗を糧としてよりよい教育活動を展開してまいります。保護者の皆様、地域の皆様、豊地小学校の取り組みにご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

学校長 勝部 浩子